

# 平成30年度 第1回 平塚市図書館協議会

平成30年7月12日(木) 14時～16時  
平塚市中央図書館 3階会議室

## 1 開会

- ・異動者紹介

## 2 会長あいさつ

## 3 議 事 (会議公開)

### (1) 平成30年度平塚市図書館予算の概要と事業計画

- ・平成30年度平塚市図書館費歳入歳出予算の概要
- ・平成30年度平塚市図書館事業計画

### (2) 今期テーマ「図書館の運営体制の検討」について

- ・民間活力の活用に係る具体的業務取組方針について
- ・「平塚市図書館サービス方針」策定に向けた東海大学学生との意見交換会
- ・今後の予定

### (3) 事務局からの報告事項

- ・新図書館システム
- ・延滞者の利用制限
- ・70周年記念事業
- ・70周年記念キャラクター「ぶくまる」の進捗状況

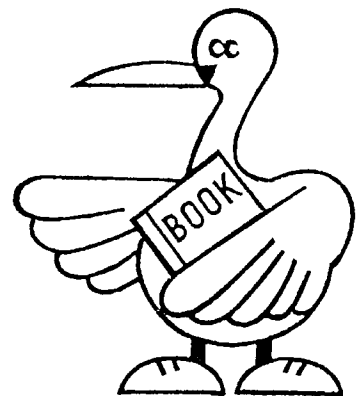
### (4) 委員からの提案

### (5) 今後の予定

第2回平塚市図書館協議会

候補日 11月8日(木)、15日(木)、22日(木)

## 4 閉 会



## 平塚市図書館協議会委員名簿

平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日

	氏 名	分 野	推 薦 母 体	就 任	備 考
1	みなと たかみ 湊 敬実	学校教育関係者	平塚市立中学校長会	1 期	
2	なかの ゆか 中野 友香	学校教育関係者	平塚市立小学校教育研究会 学校図書館部会	1 期	
3	こばやし としゆき 小林 利幸	社会教育関係者	神奈川県立図書館	1 期	副会長
4	あとべ さえ 跡部 左恵	家庭教育の向上 に資する活動を行 う者	平塚市子ども読書活動推進協議会	2 期	
5	たけのうち ただし 竹之内 禎	学識経験者	東海大学	1 期	会長
6	こうの あき 河野 亜希	学識経験者	市民公募	1 期	

### 《平塚市教育委員会》

所属・職	氏 名
教育長	吉野 雅裕
社会教育部長	高橋 勇二
中央図書館長	小林 裕治
北図書館長	本名 亮
西図書館長	宮脇 正樹
南図書館長	佐伯 啓介
中央図書館 管理担当長	高橋 章夫
中央図書館 奉仕担当長	菊坂 伸江
中央図書館 管理担当 主査	杉山 真澄
中央図書館 奉仕担当 主査	平原 渉太

# (1)平成30年度平塚市図書館予算の概要と事業計画

## ・平成30年度平塚市図書館費歳入歳出予算の概要

### 1. 概要

平塚市の図書館は、「身近なところに図書館を」を合言葉に、中央図書館の他、地区図書館3館と移動図書館「あおぞら号」で図書館サービスを行っています。

中央図書館においては、平日19時までの開館時間延長などの来館者へのサービスの充実だけでなく、来館出来ない方にもサービスの充実を図るため、移動図書館が定期巡回時間以外に、幼・保育園等に訪問して図書の貸出を行う「出前図書館」を行っています。

また、図書館ホームページから蔵書検索や予約を受け付けており、さらに子育て支援の一環として実施している「ブックスタート」では、ホームページから参加予約を受け付けるなど、インターネットを活用した利便性の向上を図っています。

### 2. 平成30年度の目標

図書館ウェブサイトをスマートフォンにも対応可能とし、利用者自身による読書履歴の保存・活用や、資料をデジタル化する機能を備えることで、利用者がより使いやすくなる新図書館システムを導入します。

### 3. 当初予算

#### (1) 歳入

(単位：千円)

事業名	事業概要／主な経費	H30予算	H29予算	増減
1 行政財産使用料	施設の目的外使用料（玄関広告マット、自販機、電柱、電話柱）	50	50	0
2 図書館施設使用料	ホールと特別研究室の使用料	4	4	0
3 広告掲載料	ホームページ掲示板掲載料	30	30	0
4 自動販売機管理料	中央図書館自動販売機設置許可に係る管理料	3341	3395	△ 54
	主な増減事由 自動販売機販売売上見込の下方修正			
5 その他雑入	マイクロ及びコピー売上金、自動販売機電気料、駐車場有料化に係る電気料	677	446	231
	主な増減事由 駐車場有料化に係る電気料増額分			
総計		4,102	3,925	177

## (2) 歳出

(単位：千円)

事業名	事業概要／主な経費	H30予算	H29予算	増減
1 子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全市的な読書活動を推進します。  ◆主な経費 各中学校区子ども読書活動推進協議会委託料、子ども読書活動ネットワーク運営委員会委託料、子ども読書活動フォーラム委託料等  主な増減事由 中学校区子ども読書活動推進協議会の一部休会による減、H29年度実施した「子ども読書活動推進計画(第三次)中間評価委員謝礼」分による減	1,230	1,402	-172
2 ブックスタート事業	地域のすべての赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を直接手渡します。  ◆主な経費 臨時職員賃金、ブックスタート絵本購入費、フォローアップ対象絵本購入費、通知はがき印字変更作業委託料等  主な増減事由 法改正に伴う通知はがき印字変更作業委託(2次経費)(料金別納→料金後納)	2,653	2,366	287
3 来館出来ない人への図書館サービス事業	図書館に来館出来ない人のために移動図書館車等を活用し、入所施設等へ出前図書館等を実施します。また、障がいのある方に対して、郵送等により資料の貸出を行います。  ◆主な経費 出前・移動図書・文庫支援資料購入費、視聴覚資料(紙芝居)購入費等	1,994	1,994	0
4 図書館協議会事業	図書館の運営及び奉仕について協議するため、図書館運営協議会を開催します。  ◆主な経費 委員報酬	102	102	0
5 中央図書館業務事業	生涯学習支援のため、図書館資料の収集、整理・貸出、レファレンス・サービス、自主事業を実施します。また、利用者の利便性を高めるため、新図書館システムを導入します。  ◆主な経費 嘱託員賃金、臨時職員賃金、講師謝礼、図書資料購入費、OA機器保守、図書等配送、OA機器等賃借料、負担金、図書館システム新規構築及び保守費用、マイクロフィルムリーダー賃借料等  主な増減事由 図書館システム入替に伴う図書館システム新規構築及び保守費用(2次経費)、マイクロフィルムリーダー新機種への入替(2次経費)	103,854	69,575	34,279

事業名	事業概要／主な経費	H30予算	H29予算	増減
6 視聴覚ライブラリー運営事業	生涯学習支援のため、学校教育施設や社会教育団体等への視聴覚資料・機材の貸出を行います。 ◆主な経費 16ミリ映写機操作技術講習会実施団体貸出用DVD購入費、プロジェクター購入費等 主な増減事由 映画会用プロジェクター購入(2次経費)	915	321	594
7 中央図書館管理事業	中央図書館の安全かつ快適な環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。 ◆主な経費 施設修繕料、施設管理運営委託料、電話設備システムリース料等 主な増減事由 空調設備修繕(2次経費)、電話設備システム交換に伴うリース料(2次経費)	43,321	42,097	1,224
8 北図書館運営事業	生涯学習支援のため、図書館資料の収集、整理・貸出、レファレンス・サービス、自主事業を実施します。 ◆主な経費 嘱託員賃金、臨時職員賃金、図書資料購入費、施設修繕料、OA機器保守委託料、OA機器賃借料等 主な増減事由 空調設備修繕(2次経費) ※H29・9月補正予算あり 施設修繕料5,070千円	17,044	11,519	5,525
9 西図書館運営事業	生涯学習支援のため、図書館資料の収集、整理・貸出、レファレンス・サービス、自主事業を実施するとともに施設の適切な維持管理を行います。 ◆主な経費 嘱託員賃金、臨時職員賃金、図書資料購入費、施設修繕料、警備・各種清掃・各種機械整備保守委託料、OA機器保守委託料、OA機器賃借料等 主な増減事由 空調設備修繕(2次経費)	43,366	40,551	2,815
10 南図書館運営事業	生涯学習支援のため、図書館資料の収集、整理・貸出、レファレンス・サービス、自主事業を実施します。 ◆主な経費 嘱託員賃金、臨時職員賃金、図書資料購入費、OA機器保守委託料、OA機器賃借料等	14,476	14,477	△ 1
総計		228,955	184,404	44,551

# ・平成30年度平塚市図書館事業計画

## 平成30年度平塚市図書館事業一覧

No.	事業名称	事業概要
1	<p>子ども読書の日記念事業「クイズでチャレンジ！めいさく王&amp;えほん王」 4月1日～5月30日</p>	<p>4月23日の子ども読書の日を広く広報し、子どもたちの読書活動を推進することを目的に実施します。今年度は「教室を飛び出して～国語の教科書にのっている本～」をテーマとし、日ごろ学校の授業で親しんでいる教科書に掲載されていたり、推薦されていたりする本をあらためて紹介し、学校の授業とは違った気持ちで読書に挑戦する子どもたちを応援します。</p> <p><b>1. 特集展示の実施</b> 平塚市立の小学校で現在使用されている国語の教科書に掲載されている物語等の出典の本と、単元の中で紹介されている本等を各館で特集展示します。</p> <p><b>2. こどもきいぶの発行</b> 特集展示のテーマからの本の紹介、図書館からのお知らせ等を掲載した図書館だより「こどもきいぶ」を発行します。</p> <p><b>3. 名作クイズ「クイズでチャレンジ！めいさく王&amp;えほん王」の実施</b> 絵本や日本・世界の名作(ロングセラー作品)の内容に関するクイズを実施し、5問正解ごとに特製メモ帳をプレゼントします。(プレゼントは6月17日まで。)</p>
2	<p>子ども読書活動推進フォーラム 7月～11月(予定)</p>	<p>子どもたちと子どもたちに身近な大人に読書の楽しさ、豊かさを紹介し、子どもの読書活動の一層の推進を図るため、「子ども読書活動推進フォーラム」を市民と協働型の実行委員会形式で開催します。(平成18年度から実施)</p> <p>昨年度まで、中央公民館大ホールを会場に700名定員で年1回実施していましたが、実行委員会が出された反省点等を踏まえ、平成30年度からは、中央図書館ホール(最大100名定員)へ会場を移し、年3回それぞれ対象者を変え、実施します。小さな会場で実施することで、講師を身近に感じ、すべての来場者に参加した実感を持っていただければと考えます。また、このフォーラムを通し、読書意欲をより喚起し、図書館への来館者を増やすことにつながることを目指します。</p> <p><b>1. 著名な作家を招いた参加型イベント</b> 「恐竜絵本作家黒川みつひろさん講演会」 対 象:中学生以下のお子さんと保護者 80名程度 内 容:親子で楽しむお話し「恐竜博士になろう！」 開催日:7月21日(土)13時30分から15時</p> <p><b>2. 小学生高学年・中学生と保護者を対象とした本の読み方講座(予定)</b> 「本ってどうやって読むの? 親子で挑戦、本の読み方講座」(仮) 対 象:小学生高学年・中学生と保護者 30組程度 内 容:親子で本の読み方を学び、実際に体験して、楽しみ方を知ります。 開催日:9月29日(土)午後(予定)</p> <p><b>3. 祖父母などのシニア世代を対象とした絵本の楽しみ方(読み方)講座(予定)</b> 「孫に絵本を～じいじ・ばあばのための絵本の読み方講座～」(仮) 対 象:祖父母及び読み聞かせボランティア等 100名程度 内 容:孫に絵本の読み聞かせをしたいと思っている祖父母を対象として、絵本の選び方や読み方を学びます。 開催日:11月10日(土)午後(予定)</p>

No.	事業名称	事業概要
3	<b>図書館体験</b>  <b>●一日図書館員</b> 7月25日～8月3日  <b>●市民の図書館体験</b> 秋頃予定	<p>市民に、図書館の仕事について知っていただき、図書館への理解と関心を高めていただくために実施します。</p> <p>市内在住・在学の小学生を対象に、市内4館で実施します。子どもたちにカウンター業務や本の探し方等を体験してもらうことにより、図書館に対する関心や理解を深め、図書館の使い方がわかるようになっていただければと考えます。例年応募者多数のため、抽選を行っています。</p> <p>市内在住の大人の方を対象に、市内4館で実施します。市民に図書館業務を体験していただくことによって、図書館への関心や理解を深めていただきます。中央図書館では、親子での参加可能日を設定し、親子で図書館へ親しみをもってもらえるよう実施します。</p>
4	<b>中学生・高校生図書館ボランティア</b>  夏8月7日～24日 冬12月末～1月	<p>平塚市在住・在学の中学生又は高校生を対象に、中央図書館で実施します。ボランティアとして図書館で書架整理や配架等を行うことで、図書館への関心や理解をより深めてもらい、また、図書に対する親しみを持ってもらいます。</p>
5	<b>他課との連携事業</b>  <b>●文化ゾーン3館コラボ事業</b> 7月7日～8月28日  <b>●こころと命のサポート事業</b> 9月・3月	<p>他課が実施している事業をPRするとともに、図書館の資料をより多くの方に利用していただくために、連携事業を実施します。</p> <p>中央図書館・博物館・美術館3館の連携事業として、共通テーマでの図書の展示などを夏休み期間に実施します。</p> <p>今年度は、美術館で開催される企画展「金魚絵師 深堀隆介展」に合わせ、7月7日(土)から8月28日(火)まで「美術館・図書館・博物館 折り紙ラリー」を開催します。それぞれ異なる折り方が印刷された用紙を3館で集め、3種類のさかな折り紙を作しましょう。また、各館では「赤い魚・赤い星」をキーワードに楽しい企画も展開します。</p> <p>平成20年7月に「平塚市民のこころと命を守る条例」を施行したことを受けて、福祉総務課が主体となってこころと命のサポート事業を展開し、自殺対策の取り組みを進めています。</p> <p>図書館では、「こころと命のサポートのための本」リスト作成及び図書館ホームページへの掲載、「こころと命のサポートのための本」の展示、関連ポスター及びリーフレット等の掲示、映画会の実施、「返却スリップ(こころと命のサポートバージョン)」の配布等行っています。</p>
6	<b>ボランティア養成講座</b>  秋から冬にかけて 3講座実施予定	<p>子どもたちの読書活動を手助けする地域のボランティア向けに、活動の一層の充実を図るために、子どもたちに読書の楽しさを伝える様々な手法や技術が向上するような講座を実施します。読み語りと子どもの発達段階に応じた子どもの本の紹介、おはなし会プログラムの作り方や小さい子ども向けのおはなし会等、毎年プログラムを変え、実施しています。</p>

No.	事業名称	事業概要
7	ブックスタート 通年	「赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら絵本を手渡すことにより、豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養うことを目的として、さらには家庭での読書のきっかけづくりとしてボランティアと連携して図書館等の会場で実施しています。 保健センターの「7か月児相談」(月2回開催)を含めた7会場で、今年度は54回開催します。その他、より多くの赤ちゃんが参加しやすいように随時個別対応なども実施しています。
8	おはなし会 通年	各図書館ボランティアの力をお借りし、乳幼児向け及び児童向け(小学校低学年)におはなし会を実施しています。(全て祝祭日は除く)  中央図書館 乳幼児向け 第1水曜日 児童向け 毎週水曜日 北図書館 乳幼児向け 第1水曜日 児童向け 第2・第4水曜日 西図書館 乳幼児向け 第3水曜日 児童向け 第2・第4水曜日 南図書館 乳幼児向け 第3水曜日 児童向け 第1・第3水曜日
9	映画会 通年	お子さんに映画を楽しんでいただけるようアニメーション映画を中心に上映会を開催しています。また、第3日曜日はご家族一緒に楽しめる一般向け映画・広報映画を上映します。こども室では、映画に関連した絵本などを用意しています。
10	「各中学校区子ども読書活動推進協議会」による読み聞かせや図書整備などの活動 通年	平塚市では、各中学校区において、読み聞かせや読書環境の整備、図書ボランティアのスキルアップのための講習会など直接的、間接的に子ども達が本に関心をもつための取り組みを進めていくため、各中学校区に設立した子ども読書活動推進協議会と委託契約を締結しています。各中学校区においては、図書室整備や朝読書、読み聞かせ、地域行事への参加、図書館見学など地域の特性に合わせた形で、事業を実施しています。
11	「子ども読書活動ネットワーク」によるボランティア同士および協議会間の交流や情報交換の場づくりのための活動 通年	図書ボランティアが、地域で楽しく活動ができるように、各中学校区子ども読書活動推進協議会の連携・共有・支えあいを図るため、「平塚市子ども読書活動ネットワーク」を平成22年度に設立しました。具体的には、読書ネット通信「LINK」の発行(年2回)、七夕市民飾りの参加(七夕飾り制作&掲揚)、図書ボランティア学習会や「本読みマラソン」の企画・運営など実施し、ボランティア同士や協議会間の交流や情報交換の場づくりのために活動しています。
12	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス 通年	平成29年度から、中央図書館参考室のインターネット用端末を新しいものに更新し、市民が国立国会図書館で提供しているデジタル化資料の閲覧ができるようになりました。
13	広報ひらつかへの記事掲載 月1回(第1金曜日号)	広報ひらつか第1金曜日号の最終ページに、図書館の所蔵図書を紹介する連載「MOTTO図書館」を掲載しています。
14	実習や体験の受け入れ(随時)	図書館司書実習、中学生の職場体験や教員の社会体験の受け入れを随時行っています。





- 【実施日時】** 平成30年6月6日(水)15:20~17:00 図書館情報学総合演習B
- 【会場】** 東海大学湘南キャンパス11号館 101教室
- 【参加者】** 図書館情報学総合演習B受講生21名(竹之内准教授)及び  
中央図書館職員5名(小林中央図書館長・高橋管理担当長・菊坂奉仕担当長・  
奉仕担当平原主査・管理担当杉山主査)
- 【内容】**
1. 「平塚市図書館サービス方針について」(提案)の説明
  2. 学生アイデアと本市での取り組み状況
  3. 東海大学生及び図書館職員とのグループワークで意見交換と全体での共有

### はじめに

平塚市図書館は、昭和23年(1948年)に図書館が設置されて平成30年度(2018年度)で70年が経過します。「身近なところに図書館を」を合言葉に、中央図書館の他、地区図書館3館と移動図書館「あおぞら号」で図書館サービスを市直営で行っています。また、今後は本市「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針について」(平成30年3月26日策定)に基づき、中央図書館窓口業務及び北図書館、西図書館、南図書館への民間活力導入に向けての検討を進めていくところです。

平塚市図書館全体として、昨今、利用者数の減少や施設の老朽化等、運営面・施設面ともに多くの課題が山積しています。施設面については、行政として老朽化した施設をどのように再編していくかという市全体の問題もありますが、何よりもまず、利用者が図書館にどのようなものを求めているのか、図書館としてどのようなサービスを提供していくのか「図書館全体のサービス」を検討する必要がある旨平成28年度平塚市図書館協議会からご提案いただきました。

それを受け、平成30年2月15日に開催した平成29年度第3回平塚市図書館協議会の場で、中央図書館奉仕担当平原主査から、図書館はどうあるべきかという根本となる土台を定めた「これからの平塚市図書館サービス方針」(案)を提案させていただきました。

なお、この「これからの平塚市図書館サービス方針」(案)を策定するにあたっては、平塚市図書館協議会竹之内会長のお力添えにより、平成30年6月6日(水)に東海大学学生と図書館職員との意見交換を行う機会をいただきました。地元東海大学で司書課程を学ぶ学生の視点で平塚市図書館の将来を考えていただき、意見やアイデアをいただくことができました。

## 意見交換会の様子

### 1. 「これからの平塚市図書館サービス方針」(提案)の説明

「これからの平塚市図書館サービス方針」(案)について中央図書館奉仕担当平原主査から説明をしました。平塚市図書館の利用者数の減少や施設の老朽化等の図書館をめぐる様々な課題をみても、図書館全体のサービス方針・施設計画等の検討が早急に必要となっています。それを受け、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」、「奏プラン」、「平塚市シティプロモーション指針」を元に、「誰もがいきいきと学べ、自慢できる『お役立ち図書館』」を目指すことを柱とし、7項目を目標として設定した「これからの平塚市図書館サービス方針」(案)を提案いたします。

### 2. 学生アイデアと本市での取り組み状況

学生さんには、前週の授業で『図書館100連発』(岡本真・ふじたまさえ著 青弓社)を参考に、平塚市図書館で実現してほしいサービスを挙げていただきました。実施済みの取り組みや施設面から実施が難しいサービスもありますが、実現してみたいアイデアも沢山いただきました。以下いただいたアイデアと中央図書館菊坂奉仕担当長から紹介した本市の取り組み状況等を紹介いたします。

#### 1. アイデア「図書館・博物館・美術館・公民館等の連携」

本市では、図書館・博物館・美術館が近接しており、毎年夏に3館のコラボレーション事業を実施しています。美術館の企画展等にあわせて夏休み期間中、各館の来館へ繋がるような様々な企画(スタンプラリー等)を連携して実施します。また、公民館と連携した事業の例として、公民館講座へ図書館職員を講師派遣したり、公民館の図書コーナーへ本を貸し出ししたりしています。

#### 2. アイデア「駅前に貸出・返却場所やコンビニに返却ポスト設置」

本市では、まずは返却できる場所を増やせるよう一部公民館、市民窓口センターや市民活動センターに返却場所を設置しています。返却場所を増やすと資料を回収する業務も必要となります。

#### 3. アイデア「図書館のマナーポスターをお子さんに作成していただく」

本市では、夏休みに小学生を対象に「一日図書館員」という事業を実施していますが、参加した児童は図書館の使い方よくわかったとその後の図書館の利用につながっているようです。子ども自身がマナーポスターを作成することは効果的だと考えます。

#### 4. アイデア「通常業務で発生するレシートを再利用した子ども向けの工作イベントの実施」

レシートは日々大量に発生しますが、感熱紙のためメモ用紙にも使えないのが現状です。エコという視点からもとてもよい取り組みだと考えます。

#### 5. アイデア「利用の少ない本・書庫の本の展示」

平成27年に、汚れてかわいそうな本、壊された本、自分では手に取らない本、貸出回数が0回の本の展示を行いました。埋もれた本を知っていただく機会を今後も作っていきたいと思います。

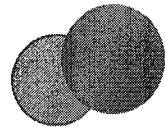
#### 6. アイデア「各地の観光パンフレットと地域誌(バックナンバーも)の設置」

必要な情報をいかに手にとれるか、情報と人をどのようにつながられるかも図書館の役割だと思いますので有効な取り組みだと考えます。

#### 7. アイデア「床に地図のように場所を示す(どこにどんな資料があるか分かりやすくする)」

床が難しければ天井を利用するなど必要な情報を自分で手に取れる環境を作っていくことは大切だと考えます。

# 平塚市図書館でやってほしい・やったらおもしろいサービス



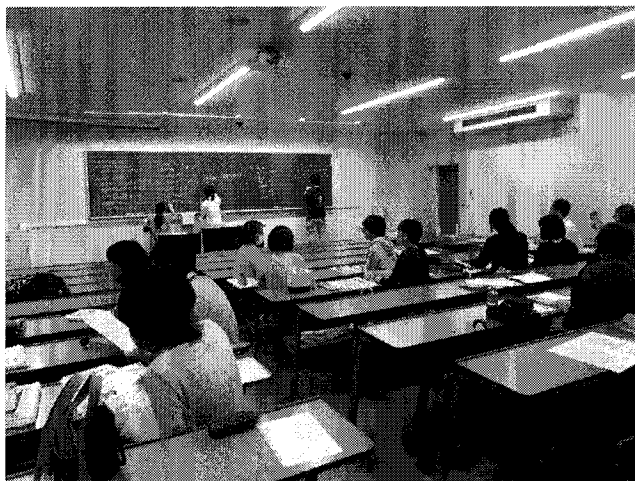
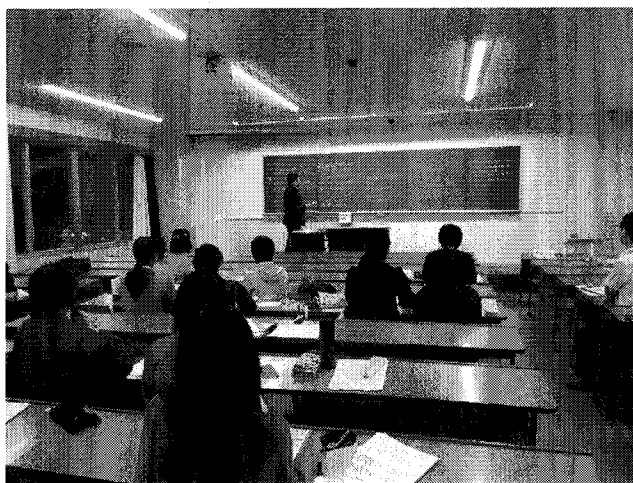
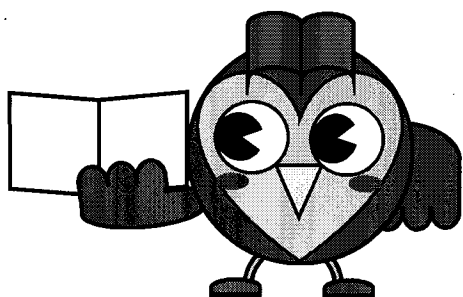
MLAK連携 美術館(博物館)・公民館と提携、互いに関連資料を提示 本を借りると美術館(博物館)の割引	特定地域別の図書の福袋を作る	24時間コンビニ等に返却ポストを設置
駅、場所、利便性ある場所で図書の出前	駅前カウンターで返却・予約本受取・テーマ別福袋等をおいて本に触れる機会を増やす	子どもがマナーポスターを作成
子ども向けの工作イベント(通常業務で発生するレシート再利用、リサイクル資料やコピーしたものでコラージュ作成など)	床に地図のように場所を示す(どこにどんな資料があるか分かりやすくする)	あえて子ども扱いしない分類サインで図書館の世界を知ってもらう
DAISY図書を児童コーナーに置き、子供に知ってもらう	利用の少ない本・書庫の本の展示。利用者によるPOPやキャッチコピー作成	書庫の本や他の分館、図書館の本を紹介→POPを持って行けば取り寄せてくれるサービス
貴重資料にも親しみやすくなれるようなテーマ展示+カフェメニュー風の蔵書リスト	アーティストの作品展示	新聞地方版で紹介された地元の本を記事と共に展示+注文書を置く
地元作家の作品を映像化されたDVDなどとあわせて紹介	各地の観光パンフレットと地域誌(バックナンバーも)の設置	地域資料(フリーペーパー等)の収集場所をバス等で案内
住民に自分の町で残したいもの・コトをカードに書いてもらい保存する「町のこしカード」	館内に音楽を流す。苦手な人のために音楽が流れないスペースを設ける	古い教科書を市民の方に寄贈して頂き年代順に並べて紹介

### 3. グループワーク

東海大学生4～5名のグループに図書館職員が加わり、以下のような内容で話し合いました。その後各グループで出された意見を全体で共有いたしました。

1. 平塚市図書館を利用したことがありますか？
2. あなたが考える「誰もがいきいき学べる図書館」とは、どのようなものでしょうか？
3. あなたが考える「自慢できる図書館」とは、どのようなものでしょうか？
4. あなたが考える「お役立ち図書館」とは、どのようなものでしょうか？
5. 観光マップを参考に、平塚市の地域の特徴を生かした図書館サービスとして、どのようなことが考えられますか？
6. 平塚市図書館の新キャラクターをどのように活用したらよいと思いますか？
7. 東海大生に平塚市図書館を利用してもらうためにはどのようにしたらよいと思いますか？

東海大学平塚キャンパスから平塚市図書館（平塚駅）までの交通の便が悪いこと等から、市内各観光名所や平塚市図書館を利用したことがある学生さんはほとんどいらっしゃらないのが印象的でした。





### 誰もがいきいきと学べる図書館

- ・読書会の開催(本を読んで感想を言い合い、その本の面白さを伝え合う)
- ・年代にあったテーマで実演と本の紹介、意見交換を行うようなイベントの開催(料理、手芸、折り紙)
- ・子どもにもわかりやすい案内サービス
- ・図書館の近くにある学校や施設などを考慮した利用者層
- ・ディスカッションしながら勉強したりできるようなスペースの確保
- ・同じようなジャンルの利用者同士がコミュニケーションをとりやすいスペースの確保
- ・気軽に足を運べるよう飲食スペースがある
- ・中学校でも図書館教育を実施

### 自慢の図書館

- ・商業施設や他の文化施設(美術館・博物館等)と融合して利用できる
- ・子どもの声が聞こえたりするような和やかな雰囲気
- ・娯楽、ヤングアダルト、ライトノベルス、話題の新刊等が充実している
- ・ゆっくり静かに学習できるようなスペースがある
- ・カフェが併設されていたり、Wi-Fi や電源席が充実している
- ・大学や平塚市の観光スポットにも移動図書館車「あおぞら号」を呼ぶ
- ・七夕飾りの短冊に読みたい本を書いて、賛同者の数で蔵書にできる
- ・七夕飾りの短冊に面白かった本を書き、ランキング形式で発表
- ・図書館の新キャラクターを利用してツイッターやインスタグラム等 SNS で利用(大学生コラボ)

### 役立つ図書館

- ・借りたい本を宅配サービスで提供してくれたり、WEB 上でリファレンスしてくれる
- ・図書館から離れた地域に住む人に向けた受取・返却が駅構内のできるサービス
- ・図書館の開館時間中に行けない人に対しても宅配物の受け取りロッカーで本が受け取れたりできる
- ・開館時間が長い
- ・おすすめの本を紹介してくれる
- ・趣味に特化した資料が多くある(何かを始めたいときサポートできる仕組み)
- ・就活関連で、履歴書の書き方講座

## 学生さんの感想

東海大学生にとって、平塚市図書館は気軽に行ける場所ではないことがわかったのは驚きであったと同時に、様々な新しい視点やアイデアをいただくことができました。新キャラクター「ぶくまる」は、SNSと連動して平塚市図書館の愛されるキャラクターとして広められるようにしていきたいと思えます。また、今後も意見交換の場が設けられると良いと思えます。以下、学生さんの声を紹介いたします。

現場の方と直接お話が出来てうれしかったです。新しい意見をお伝えしていいね！と言ってもらえて嬉しいのと、実際に努力していることややっているけど難しいことなど知ることができたのがよかったです。

図書館がどうしたら問題解決できるのかを考えるのは難しかったです。「こうすれば、ああすれば」というアイデアを現実的に(コストなど)考えると難しいことばかりだと改めて感じました。

実際に図書館の現状や課題等をきくことができ、それをきいてアイデアが浮かんだり、本当に難しい問題もあつたり充実の時間でした。形になることが(何かしらの意見が)あればうれしいなと思えます。

自分たちのアイデアがよりよい図書館に繋がっていったら良い。キャラクターとSNSを掛けあわせるのは良いと思う。ネットニュースでとりあげられたり、タグ付け機能をうまく使いこなせれば、良い宣伝になると思った。

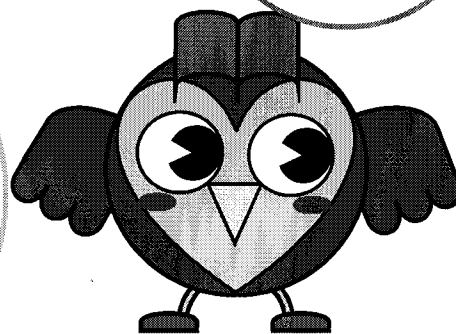
ぶくまるデザインのブックカバーなど利用者が自分で印刷できれば良いと思えます。

ぶくまるがすごくかわいいので有名になってもらいたい。ぬいぐるみとかほしいです。

夏休み等の長期休暇に大学生ボランティア・アルバイトの募集、実習生の受け入れができないか検討していただきたいと思えます。

図書館の新しいキャラクターがいかに利用者に浸透するかが重要なのかと思った。

「七夕祭りでリクエスト本を短冊に書く」という案がとってもおもしろくて私も参加したいと思えました！自分の考えでは浮かばなかったことがたくさんあつて図書館は色々なことができる場であると理解できたと同時に様々な考え方や現実を知ることができて楽しかったです。



70周年平塚市図書館記念  
キャラクター「ぶくまる」

授業等で「自分が図書館をつくったら」と理想の計画をたてたりする事はあつたものの、実際の地域を構想に入れて考えることはあまりなかったので、平塚市で働いている方とお話をしながら「どんなことができるか」考えることができ、とても楽しかったです。

ぶくまるを利用したインスタなどでの観光名所案内はキャラクターの認知を上げるのにとてもよくて思ってもみなかったです。ツイッターなどのSNSでぶくまるに語尾に「ホウ」とか「ホー」とかつけて喋らせると良いのではないかなと思って提案しました。

東海大学の図書館内に平塚市図書館のポスターを飾るとか東海大学のホームページから平塚市のホームページへ渡れるようにするとかあつたら便利だと思えました。

大学には専門書ばかりで娯楽のための本が少ないので、ぜひ小説などをのせたBM(移動図書館あおぞら号)がきてくれると良いと思う。また、中学校や高校にもBMが来てくれると良いと思う。

## ・今後の予定

### 平塚市図書館サービス方針への反映について(イメージ)

図書館協議会及び東海大学学生のご意見を踏まえ、「誰もがいきいきと学べ、自慢できる『お役立ち図書館』7項目について、以下のようなイメージで修正します。

#### ① 子どもから大人まで、読書に親しむ環境をつくります

- ・ブックスタート事業の実施
- ・各年齢層へ向けた講座や事業の実施
- ・ボランティアの育成と活動支援
- ・子ども読書活動推進事業の推進

各目標に対する少し具体的な内容をいれる。

#### ② だれもが知的欲求を満たすことができる、学びの場を提供します

- ・来館出来ない人へのサービスの充実
- ・開館日、開館時間及び事業実施日時の検討
- ・移動図書館「あおぞら号」の在り方検討
- ・公民館等の社会教育施設の活用

#### ③ 情報化・デジタル化に対応した資料提供をします

- ・図書資料の電子化の促進
- ・図書資料の収集・提供事業

#### ④ 市民が抱える課題の解決につながるサービスを実施します

- ・専門的知識を持った職員の確保
- ・館内研修制度の充実
- ・市民団体との連携と活動の支援
- ・市民参加型の事業の充実

#### ⑤ 来館者に居心地がよいて感じてもらえるよう努めます

- ・図書館施設の整備
- ・図書館施設個別計画の策定
- ・休憩スペースの確保

#### ⑥ 地元に根差し、平塚の魅力や歴史、文化に関する情報を発信します

- ・平塚市関連の資料及び情報の収集と提供
- ・地域資料行政資料の活用

#### ⑦ 学校や地域と連携し、生きる力の養成をはかります

- ・子ども読書推進活動計画の推進
- ・おはなし会の拡充
- ・参加型の事業の充実

東海大学生のご意見を追加。

#### ⑧ 図書館への関心を深め、愛着を持っていただくよう努めます。(案)

- ・図書館キャラクターへの周知・活用(案)
- ・SNSを利用した情報発信(案)

## 【新図書館システム導入について】

6月29日から新しい図書館システムが稼働しました。  
新しく追加された機能など、主な変更点は次のとおりです。

### スマートフォンでも見やすくなりました

今までのシステムでは、パソコン用の画面をそのまま表示させているため、見にくく、操作しづらいことがありました。

今回の更新により、使用している端末に合わせた表示となり、スマートフォンからでもホームページの閲覧や蔵書検索などが扱いやすくなります。

### ウェブサイトからのレファレンスの開始

なかなか図書館に来られない方でもレファレンス・サービスを受けられるよう、図書館のホームページから問合せができる機能です。

図書館のウェブサイトからレファレンスの受け付けフォームに必要事項を入力して送信していただきます。お問合せの内容をもとに、図書館職員が図書館資料などから必要な情報を調べ、その結果をシステムもしくは電子メールで回答します。

対象者	問合せ対応内容
平塚市図書館の登録者	内容に制限なし
図書館未登録者	平塚市に関するもののみ

### 貸出し履歴の確認機能

希望者が自分で設定をすることで、貸出履歴を保存できる機能です。希望しない方の履歴は保存されません。

今までにどのような本を読んだのか記録できることで、利用者が今まで読んだ本を振り返ったり、まだ読んでいない本を確認できたりします。このことで読書意欲を促進できると考えています。

確認するには、図書館のウェブサイトや図書館内に設置してある利用者用検索機でご覧いただけます。

### 資料の返却期限を電子メールで知らせるお知らせメールの機能

返却期限を事前（原則3日前に設定）に電子メールで自動通知を行う機能です。

希望者がこのメール受信を申請することによって、返却期限が近くなった資料をお知らせします。これにより、うっかり返し忘れることが防げると考えています。

### ツイッターの開始

新たにツイッターを開始しました。これにより、図書館の事業や施設の状況などが市民の皆様に迅速にお知らせできるようになりました。また、図書館のキャラクター（平塚市図書館設置70周年記念キャラクター「ぶくまる」）がつぶやくように設定することで、より図書館に親しみを感じていただけたと考えています。



## 平塚市図書館の図書資料等の貸出しの停止等に関する要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、平塚市の図書館の設置及び管理等に関する条例施行規則（昭和45年3月31日教委規則第7号。以下「規則」という。）第22条第1号に該当する者に対して、規則第22条の規定による図書資料等（以下「資料」という。）の貸出しの停止等について必要な事項を定めるものとする。

### (貸出しの停止等)

第2条 資料の貸出を受けた者が、返却期限の翌日から起算して30日を経過しても当該資料を返却しないときは、中央図書館長は、資料の新たな貸出、新たなリクエスト及び予約の受付を停止する。

### (貸出しの停止等の解除)

第3条 貸出等の停止の解除は、当該未返却の資料を返却処理した後とする。

(1) 休館日等の閉館中に返却ポスト等に投函された未返却の資料は、直後の開館日に返却処理を行った後とする。

(2) 駅前市民窓口センター、市民活動センターや返却ポストを設置している公民館に返却した場合は、中央図書館が回収し返却処理を行った後とする。

(3) 未返却の資料を滅失した際には、原則弁償手続きを行った後とする。

2 前号の規定にかかわらず、中央図書館長が必要と認めるときは、貸出しの停止等を解除することができる。

### (免責)

第4条 第2条において、返却期限の経過後において資料の返却が滞る事由が、病気、事故及びその他の事由により中央図書館長が延滞についてやむを得ない事情があると認めるときはこの限りでない。

### (その他)

第5条 この要綱の施行にあたって必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成30年6月29日から施行する。

## 【平塚市図書館設置70周年記念事業】

今までも御報告していました記念事業について、実施予定事業が決まりましたのでお知らせいたします。

### 新しいキャラクターの発案

これまでは「ぶっくん」という白鷺がモチーフになったキャラクターがありました。

今回、70周年を記念して、知恵の象徴といわれているふくろうをモチーフとしたキャラクターで、「ぶくまる」を発案しました。

より図書館に親しみを感じていただけるよう、カラフルで動きがある新しいキャラクターを発案しました。

活用方法としては、図書館ホームページをはじめ、館内掲示や図書館のチラシなどに掲載し、図書館や図書館の事業に親しみを感じていただきたいと考えております。

また、他の70周年記念事業の参加に関連してグッズを配布する場合には、そのデザインに使用することも考えております。

### 本の福袋

図書館職員が、テーマなどを決めて紙袋等に本を入れて封をします。

中が見えないようになっていますので、表にテーマや一言コメントなどを表示し、それを参考に選んでいただけます。

### 読書通帳について

図書館システムの更新により貸出し履歴を保存できるようになることから、手書き用の読書通帳を提供する予定です。

図書館ウェブサイト（ホームページ）からデータをダウンロードができるようにする予定です。また、70周年限定の読書通帳を作成・配付を企画しています。

### そのほかの事業予定

#### ○展示

60周年以降の過去10年間の本（よく読まれた本など）を振り返る展示

#### ○壁面飾り作成

来館されるお子さんに参加していただき、みなさんで1つの作品を作成します。